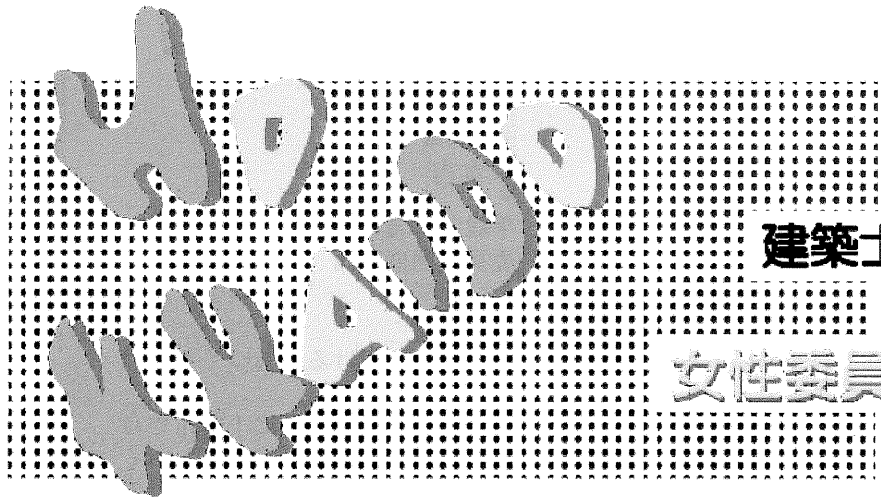


No. 49



ブロック活動

道央A 種田 若菜

本年度春の道央Aブロックのブロック活動としまして、札幌市白石区にあります札幌市民防災センターの体験見学会を行いました。

実は、このブロック活動の内容及び活動日時が決定したのは、年明けの最初の委員会でしたので、当然このたびの大震災は想定外の出来事で、しかも大震災直後の4月の見学会でしたので、参加者全員身の引き締まる、切実な体験学習となりました。

こちらの、施設は地震体験コーナーや消火体験コーナーなどで、各種災害の模擬体験を通じ、防火・防災に関する知識や災害時の行動を学ぶことが出来る施設です。このたびのような大震災に備えてということに加え、身近に潜む家庭内での事故などを起こさないようにすること、また人命救助の基礎知識というように、いざという時にどのように行動すればよいのかという日常では体験できない内容の体験をシュミレーションしてきました。まず、全員で3Dシアターにて防火・防災の心構えを学ぶと共に、災害の恐ろしさを体感し、3班くらいに分かれて地震体験コーナー、消火体験コーナー、煙避難体験コーナー、119番通報体験コーナー、救急体験コーナーにて体験学習したり、防火・防災に関する情報を調べた

り、防災グッズの展示を見たりしました。

この体験を通して、思い知らされましたのは、全く冷静に的確な行動が出来ないということです。ほぼ、参加者の感想が同じでした。あくまでも、事前に説明など受けているシュミレーションであると認識していても、パニックになってしまいました。特に私は、煙避難コーナーで、偽者の煙が充満している暗闇の2階建ての模型の中、階段を使って出口まで避難してくるという体験学習なのですが、最初の扉がわからず、パニックになってしまいました。建築士でありながら建物の図面をみているにもかかわらず、こんなことになってしまうのだと、暗闇の恐ろしさを痛感させられました。現実の災害であったら間違いなく被災していたことでしょう。そんなことにならないための体験学習、災害時に的確に冷静に行動するための日頃から防災・防火に対する意識を高める訓練が絶対必要であると認識しました。また、この経験を通し、このたびの大震災の情報などからも、これからの建築物は、公共的な建物に限らず住宅などにも非常用電源の確保は重要であると感じました。被災地の建築士の方々からのお話ですと、建築士の立場からの防災訓練をということで、学校などに出向いているそうです。

防災・防火という分野で建築士という立場から社会に貢献できる

ことは何か、どのようなことを求められているのかと深く意識し、これからの課題であると思いました。



全道大会『集い』再案内

- A 秋の釧路湿原散策ツアー
9：30～12：30
- B 釧路ランチ12：30～13：30
- C ターミナル見学会
&ポートウォッチング
13：45～

※Cコースは定員30名です。

※内容や時間は変更になる場合もありますのでご了承下さい。

と き：9月25日（日）
9：30集合（予定）

対象者：建築士会会員

参加費：無料（昼食代は各自負担）

※参加希望の方は下記まで申し込み下さい。

申し込み先

建築士会事務局 担当：和田

TEL 011-251-6076

FAX 011-222-0924

Mail wada@h-ab.com

必要事項

①参加者氏名 ②連絡先

③参加コース ④移動手段の有無

沢山のご参加お待ちしております。